

関市の環境トピックス-1

～親子で楽しむ自然観察会～



令和元年6月15日（土）関市山田青田地区にて、講師に特定非営利活動法人森のなりわい研究所代表理事・所長の伊藤栄一氏を迎え、「親子で楽しむ自然観察会」を開催しました。梅雨の時期の田んぼや森で生き物や植物を観察し、身近なところから環境保全を考えることを目的として開催しました。

当日は、市内小学生6名が参加し、元気いっぱいに自然の中を駆け回っていました。オタマジャクシ、カエル、ドジョウ、ザリガニ、スジエビなどの水中生物に加えて、ヒヨドリ、セキレイなどの鳥類、カマキリなどの昆虫類も確認することができました。「身近なところで自然に触れる。意外とできないことができた。」



「学区も違う子供たちが、初対面であるにも関わらず、協力していることがよかった。」などの感想があり、自然に触れ合い環境保全を考えるだけではなく、自然を通して人とつながることも実感してもらえたと思います。こういった環境セミナーを今後も継続していきます。



関市の環境トピックス-2

～環境フェアせき2019を開催～



令和元年11月10日(日)に「環境フェアせき2019」をわかくさ・プラザ学習情報館および交流プラザにて開催しました。市内外の環境保全活動を行っている26団体が出展し、各団体の出展ブースでは活動紹介や来場者との交流を深めました。環境鍋の配布では、フードマイレージを意識して、なるべく地元の食材を使用する「地産地消」、野菜の皮をむかずに使用し「フードロスを減らす」、使い捨ての容器を使用しない「マイ食器で食べ

ようプロジェクト」の呼びかけを行い、来場者に環境への意識啓発を行いました。また、関高等学校生によるSGH活動発表や、市内小中学校の環境活動の取り組み及び環境ポスターコンクール作品の展示を行い、学生たちの活動を市民の方に知ってもらうとともに、学生たちが環境について考える機会ができたと思います。今回のイベントを通

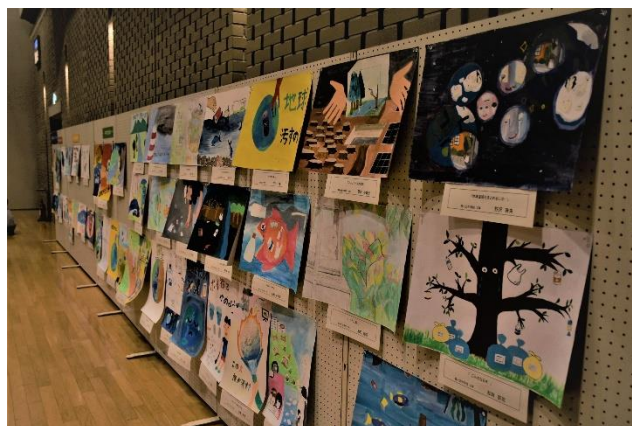


関高等学校による SGH 活動発表

して、活発的に環境保全活動を行っている市民団体や事業者の取り組みを広く市民の方に知らせるとともに、団体などの相互の情報交換を図ることができました。



環境鍋の配布



環境ポスターコンクール作品展示

関市の環境トピックス-3

～ごみ分別アプリ「さんあ～る」の導入～

～小型家電等回収事業の連携と協力に関する協定の締結～

＜ごみ分別アプリ「さんあ～る」の導入＞

令和元年5月30日からごみ分別アプリ「さんあ～る」を導入しました。ごみ収集カレンダー、関市ホームページとあわせて、このアプリを利用することで、これまで以上に収集日や分別方法を手軽に調べることができます。利用できる内容は、ごみの分別検索、



ごみ分別アプリの画面

資源・ごみ分別ガイド、多言語に対応した収集日カレンダー、関市からのごみ収集に関する通知などです。ごみ分別ガイドでは、今までどう捨てればいいのかわかりにくかったものも、簡単に捨て方を確認することができ、ごみ出し通知機能を使えば、忘れてしまいがちな月1回の資源や不燃のごみの日もお知らせしてくれます。

＜小型家電等回収事業の連携と協力に関する協定の締結＞

令和元年10月1日から、リネットジャパン株式会社と締結された協定により、宅配便を活用した使用済小型家電等の回収が始まりました。関市では、平成26年1月から市役所、地域事務所等での使用済小型家電ボックス回収を行っていましたが、これに加え宅配便を活用した回収により、自宅に宅配便業者が回収に来てくれる、回収品目が現在の65品目から400品目以上に増加するなど、住民サービスの向上、ごみの減量及び資源の有効

活用の推進を図りました。



協定式の様子



宅配便回収の流れ